

部局名

農学部 フロンティア科学実験総合センター
(遺伝資源分野)

担当: 権藤 崇裕



テーマ

植物を改良する遺伝子組換えのおもしろさ



植物の遺伝子組換えは、遺伝子の機能を知るための方法であるばかりでなく、世界の食糧問題や環境改善に大きく貢献できる有用な技術です。植物に遺伝子を導入して、それが発現する。それは、簡単そうで実はかなり難しく、神秘的なものです。

サイエンスは美しい！楽しい！なるほど！と皆さんに感じてほしいと思います。



詳細内容はQRコードから確認できます

のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/cat729/post-49.html>

牧草の組織培養と遺伝子組換え



牧草の品質を向上する遺伝子、乾燥および低温に強い遺伝子の探索や導入を行っています。牧草の組織からカルス（未分化な細胞の塊）を誘導し、植物体を再生する一連の培養系を確立して遺伝子組換えを行います。

高校生を対象とした遺伝子組換えの体験実習



毎年、夏休みの時期に、高校生を対象とした「ひらめき☆ときめきサイエンス」を開催しています。実際に遺伝子を導入し、遺伝子組換えの原理や安全性について実習を行います。



カルスで作った九州地図

ひとつひとつがカルスで、地図を作るのに6時間かかりました。